

No. 674

日本一九六六年

600

一九六六年。

子供達はテストと交通戦争に悩まされ、学生は受験地獄に頭を休めるひまもない。

そして狭き門を通りぬけたものの、私立大学の台所はどこも火の車、早稲田も騒いだ。原子力潜水艦が入港すれば全学連が騒ぎ、ビートルズが上陸すればファンが騒ぐ。

2月4日、全日空機墜落、死者133名。その日から日本の空は狂った様に飛行機事故が続いた。

羽田でのカナダ航空機、富士山麓でのB・O・A・C機、再び羽田での日航機炎上、そして全日空機の松山沖での墜落と……。

鹿児島県内之浦からはロケットが打ち上げられた。こんなに科学の進歩した日本に台風26号が襲えばたちまち全国に被害をもたらす。殊に山梨県足和田村での山津浪は大きな被害をもたらした。

政治家のエラーも相次いだ。

小林章、田中彰治、荒船元運輸大臣、松野元農林大臣、上林山元防衛庁長官……。

そして佐藤首相は人事刷新と組閣に取り組んでみたが……。